

Diameterエンドポイントのルート障害デッドタイム設定

内容

[概要](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、StarOS(アグリゲーションサービスルータ(ASR)5500、QvPC - SIおよびQvPC-DI製品)でdiameterルートが失敗したシナリオについて説明します。

著者 : Cisco TACエンジニア、Jean SmetzおよびDennis Lanov

問題

次のログがMMEで報告されます。

解決方法

選択したルートで障害が発生すると (Tx-timeoutなど)、そのルートの障害の数が増加します。障害の数が設定済みの「route-failure threshold <>」に達すると、そのルートはFAILEDと見なされます。

1. メッセージをルーティングするためにroute-lookupを実行している間、失敗したルートは無視されません。「使用可能」ルートには、「失敗」ルートよりも高い優先順位が与えられます。「使用可能」ルートがない場合、「失敗」ルートが選択されます。
2. 障害が発生したルートは、障害が発生するまでmax-deadtimeになります。deadルートルカバリの時間を設定するには、エンドポイント設定で「route-failure deadtime <>」を使用します。デフォルトでは、60秒に設定されています。
3. コマンドdiameter reset route failureを使用して、障害が発生したルートを強制的にリセットできます。

diameterピアの下でdiameterルート障害が発生した場合は、ルート障害デッドタイム値を設定し、一定時間後 (秒単位で設定した値) に自動的にクリアすることを推奨します。「route-failure deadtime」は、ルートのFAILEDステータスを保持する時間を設定します。この時間が経過すると、ステータスが[AVAILABLE]に変わります。

```
configure
context <context_name >
diameter endpoint <endpoint_name>
route-failure deadtime 86400
```

CLIの詳細については、[コマンド・ライン・インターフェイス・リファレンス](#)を参照してください

